

第1学年数学科 学びのデザイン

日 時 平成27年11月17日(火) 5校時

場 所

学 級

指導者

1 単元名 平面図形

2 本時の目標 (1/7時間)

(1) 敷き詰め模様がどんな図形がもとになって作られているかを調べることができる。

【関心・意欲・態度】

(2) 一つの平面図形をもとにして、敷き詰め模様をつくることができる。【技能】

3 おもな授業の流れ

(1) 導入

・日本伝統の模様について触れる。

(2) 学習課題 敷き詰め模様をつくろう。

(3) 共有

・敷き詰め模様をかく前段階として、麻の葉模様を構成している図形を確認する。

【作業 小グループ】

(4) 共有2

・方眼紙に、直角三角形をもとにして敷き詰め模様をつくらせる。【作業】

(5) ミニジャンプ

・方眼紙に、直角三角形以外の図形をもとにして敷き詰め模様をつくらせる。【作業 小グループ】

(例を提示し、様々な観点で考えてよいことを確認する。)

(6) ジャンプの課題 【作業 小グループ】

2つの図形をもとにして敷き詰め模様をつくろう。

4 指導にあたって

図形の学習がここが最初であることから、図形に対する興味や関心を持たせるために、敷き詰め模様を自分でかき、綺麗な作品に仕上げることにより、数学的な操作活動の楽しさを感じさせたい。

また、敷き詰め模様をつくる際、もとの図形を移動させながら模様を構成していくことになる。次時の平面図形の移動の内容にもつなげていきたい。